中部地方

名前

問1　夏でも涼しい高冷地の気候を利用した抑制栽培が盛んで、長野県が全国トップクラスの生産量を誇る野菜として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 熊本県公立入試 類似）

1. トマト
2. キャベツ
3. レタス
4. きゅうり

問2　中部地方の自然環境と河川の特徴について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、中部地方には長野県・山梨県・静岡県の3つの県境が山間部の一点で交わるような複雑な地形が見られます。（2025年 京都府公立入試 類似）

1. 中部地方の山岳地帯から流れる木曽川は、静岡県を通って富山湾へ注いでいる。
2. 長野県を流れる木曽川は、山梨県を通って日本海へ注いでいる。
3. 山岳地帯を源流とする木曽川は、愛知県などを経て太平洋へ注いでいる。
4. 中部地方を流れる木曽川は、北上川と同様に東北地方の平野を形成している。

問3　山梨県、群馬県、岐阜県、富山県などに囲まれた本州中央部の内陸県で、平均標高が1000メートルを超える地形的特徴を持つ長野県において、その環境を活かして生産が盛んに行われている農産物の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 高知県公立入試 類似）

1. みかんやオリーブなどの耐乾燥性果樹
2. ピーマンやナスなどの促成栽培による夏野菜
3. サトウキビやパイナップルなどの亜熱帯作物
4. レタスやハクサイなどの高原野菜

問4　中部地方に位置するある内陸県は、東側で東京都と隣接しており、県の南部には日本最高峰の富士山がそびえています。この県の名称と、その県庁所在地の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2021年 京都府公立入試 類似）

1. 山梨県 ― 甲府市
2. 静岡県 ― 静岡市
3. 山梨県 ― 山梨市
4. 長野県 ― 長野市

問5　中部地方を構成する各県のうち、県名と県庁が置かれている都市（県庁所在地）の名称が異なる県が二つあります。日本海に面する北陸地方の県と、太平洋に面する東海地方の県の組み合わせとして、正しいものはどれですか。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 石川県（金沢市）と愛知県（名古屋市）
2. 福井県（敦賀市）と岐阜県（大垣市）
3. 富山県（高岡市）と愛知県（豊田市）
4. 石川県（輪島市）と静岡県（浜松市）

問6　静岡県の牧之原台地において、大規模な茶の栽培が行われている理由について述べた文として、地形的特徴と関連付けて説明しているものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 周囲より一段高い平坦な地形で、水はけが良く、機械による効率的な作業に適しているため
2. 山に囲まれた平坦な地形で、夏に高温になりやすく、日照時間が長いため
3. 海岸近くの砂丘地帯で、地下水の汲み上げによるスプリンクラー設備が整っているため
4. 川が山地から平地に流れ出た場所に土砂が堆積し、傾斜があるものの水はけが良いため

問7　長野県などの標高が高い地域で生産される「高原野菜」が、東京や大阪などの大都市圏へ盛んに出荷されるようになった背景として、最も適切な理由はどれですか。（2021年 高知県公立入試 類似）

1. 大都市周辺の農地が不足したため、すべての野菜生産を遠隔地の山岳地帯に移転させる政策がとられたため。
2. 海外からの輸入野菜に対抗するため、収穫した野菜をすべて乾燥加工してから出荷する技術が普及したため。
3. 高速道路などの交通網が整備され、保冷トラック（冷トラック）による迅速な輸送が可能になったため。
4. 標高の高い地域は平地に比べて土地代が極端に安く、ビニールハウスを大量に設置して冬の出荷を増やしたため。

問8　中部地方の各県の統計において、豊富な水資源と険しい地形を活かした水力発電の発電量が非常に多く、さらに耕地面積の大部分を水田が占め、稲作を中心とした農業が行われている県はどこですか。（2026年 山形県公立入試 類似）

1. 富山県
2. 長野県
3. 静岡県
4. 新潟県

問9　山梨県の甲府盆地などに多く見られる扇状地では、昼夜の気温差が大きいことや日当たりが良いことに加え、ある土地の性質がブドウやモモなどの果樹栽培に適した条件となっています。その性質について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. 有機物を多く含む泥土が堆積し、常に湿っている
2. 砂や礫が堆積しており、水はけが良い
3. 粘土質の土壌が広がっており、水持ちが良い
4. 火山灰が厚く降り積もっており、水分の保持力が高い

問10　富山県にある黒部ダムの東側に位置し、富山・岐阜・長野・新潟の各県にまたがって南北に伸びる山脈があります。通称「北アルプス」とも呼ばれ、標高3000メートル級の山々が連なるこの山脈の名称として正しいものを選んでください。（2017年 山形県公立入試 類似）

1. 日高山脈
2. 飛騨山脈
3. 木曽山脈
4. 赤石山脈

問11　中部地方の4県（愛知県、静岡県、三重県、岐阜県）の2014年における産業統計を比較したとき、工業生産額が約10兆5761億円と高く、漁業生産量が約20.9万トンで4県中最多である一方、果実産出額が約72億円と最も少ない特徴を持つ県はどこですか。（2018年 三重県公立入試 類似）

1. 静岡県
2. 岐阜県
3. 三重県
4. 愛知県

問12　日本のある果物の生産量上位県を見ると、1位が山梨県、次いで長野県、山形県、岡山県、福岡県となっています。この果物の栽培に適した地理的条件についての説明として最も適切なものはどれですか。（2025年 徳島県公立入試 類似）

1. 年間を通して温暖で雨が多く、平坦な沖積平野が広がる地域が適している。
2. 夏でも涼しく、保水力の高い粘土質の土壌が広がる湿地帯が適している。
3. 水はけが良い扇状地や、年間の降水量が少なく日照時間が長い内陸の気候が適している。
4. 冬の降雪量が多く、年間を通じて湿潤で日照時間が短い地域が適している。

問13　富山市では、旧JR富山港線を路面電車化（LRT化）したことで、公共交通の利便性が大幅に向上しました。運行状況の変化をみると、かつては30分から60分に1本程度だった運行間隔が、日中は15分、ラッシュ時には10分間隔へと短縮されました。このような運行サービスの改善がもたらした直接的な結果として、最も適切な説明を選びなさい。（2016年 長野県公立入試 類似）

1. 運行効率を最優先した結果、駅の数を大幅に削減し、速達性を高めることで利用者が増加した。
2. 1回あたりの輸送能力を高めるため、従来の車両よりも大型で定員の多い車両が導入された。
3. 1日あたりの輸送人数が、LRT開業前の約2000人台から開業後は5000人台へと大幅に増加した。
4. 運行本数を増やしたことで維持管理費が増大し、1人あたりの運賃が大幅に引き上げられた。